

# JIS

## CAD機械製図

JIS B 3402 : 2000

(JSDE/JSA)

(2006 確認)

平成 12 年 12 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第12条第1項の規定に基づき、社団法人日本設計工学会(JSDE)/財団法人日本規格協会(JSA)から、日本工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS B 3402 : 1993は改正され、この規格に置き換えられる。

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 1. 3. 1 改正：平成 12. 12. 20

官報公示：平成 12. 12. 20

原案作成者：社団法人 日本設計工学会（〒169-0073 東京都新宿区百人町 2 丁目22-17 セラミックスビル TEL 03-5348-6301）

財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目1-24 TEL 03-5770-1573）

審議部会：日本工業標準調査会 FA部会（部会長 吉川 弘之）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省 産業技術環境局標準課 情報電気標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## CAD機械製図

B 3402 : 2000

## Drawing practices for mechanical engineering by CAD

1. **適用範囲** この規格は、主として機械工業の分野においてCADによって行う製図(以下、CAD製図という。)について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されたことによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS B 0021 製品の幾何特性仕様(GPS)―幾何公差表示方式―形状、姿勢、位置及び振れの公差表示方式

JIS B 0022 幾何公差のためのデータム

JIS B 0023 製図―幾何公差表示方式―最大実体公差方式及び最小実体公差方式

JIS B 0024 製図―公差表示方式の基本原則

JIS B 0026 製図―寸法及び公差の表示方式―非剛性部品

JIS B 0028 製図―寸法及び公差の表示方式―円すい

JIS B 0029 製図―姿勢及び位置の公差表示方式―突出公差域

JIS B 0031 製図―面の肌の図示方法

JIS B 0401-1 寸法公差及びはめあいの方式―第1部：公差、寸法差及びはめあいの基礎

JIS B 0405 普通公差―第1部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差

JIS B 0419 普通公差―第2部：個々に公差の指示がない形体に対する幾何公差

JIS B 0601 表面粗さ―定義及び表示

JIS B 0610 表面うねりの定義と表示

JIS B 3401 CAD用語

JIS Z 3021 溶接記号

JIS Z 8114 製図―製図用語

JIS Z 8311 製図―製図用紙のサイズ及び図面の様式

JIS Z 8312 製図―表示の一般原則：線の基本原則

JIS Z 8321 製図―表示の一般原則：CADに用いる線

JIS Z 8316 製図―図形の表し方の原則

JIS Z 8317 製図―寸法記入方法―一般原則、定義、記入方法及び特殊な指示方法

JIS Z 8318 製図―長さ寸法及び角度寸法の許容限界記入方法

3. **定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS B 3401及びJIS Z 8114による。

#### 4. 一般事項

4.1 **具備すべき情報** CAD製図は、次の事項を備えなければならない。

a) 図面管理上必要な情報(例えば、図面名称、図面番号、製図者、図面承認者など。)

b) 形状に必要な情報(例えば、投影図、断面図、寸法、三次元形状データなど。)